

# 平成26年度 川崎市国民健康保険料の計算方法

国民健康保険料は、医療分保険料・支援分保険料・介護分保険料の合算額です。

## 医療分保険料

川崎市の国保に加入している方の医療費等に充てられます。

### 【所得割額】

賦課基準額(※1)

(国保の加入者全員)

$$\boxed{\phantom{00000}} \text{円} \times \text{保険料率 } \mathbf{6.45\%} \times \text{加入月数} / 12 = \boxed{\phantom{00000}} \text{円} \text{ ①}$$

### 【均等割額】

$$\mathbf{15,318} \times \text{国保の加入者数} / 12 = \boxed{\phantom{00000}} \text{円} \text{ ②}$$

### 【平等割額】

$$\mathbf{19,458} \times \text{(特定世帯(※2)は9,729円)} / 12 = \boxed{\phantom{00000}} \text{円} \text{ ③}$$

(特定継続世帯(※3)は14,594円)

$$\text{合計(①+②+③)} \mathbf{0} \text{円} \text{ A}$$

(最高限度額 510,000円)

## 支援分保険料

全国の後期高齢者医療制度に加入している方の医療費等に充てられます。

### 【所得割額】

賦課基準額(※1)

(国保の加入者全員)

$$\boxed{\phantom{00000}} \text{円} \times \text{保険料率 } \mathbf{2.55\%} \times \text{加入月数} / 12 = \boxed{\phantom{00000}} \text{円} \text{ ④}$$

### 【均等割額】

$$\mathbf{5,760} \times \text{国保の加入者数} / 12 = \boxed{\phantom{00000}} \text{円} \text{ ⑤}$$

### 【平等割額】

$$\mathbf{7,316} \times \text{(特定世帯(※2)は3,658円)} / 12 = \boxed{\phantom{00000}} \text{円} \text{ ⑥}$$

(特定継続世帯(※3)は5,487円)

$$\text{合計(④+⑤+⑥)} \mathbf{0} \text{円} \text{ B}$$

(最高限度額 160,000円)

## 介護分保険料

40歳から64歳の国保の加入者にかかります。全国の介護保険給付費に充てられます。

### 【所得割額】

賦課基準額(※1)

(40歳から64歳の国保の加入者)

$$\boxed{\phantom{00000}} \text{円} \times \text{保険料率 } \mathbf{2.68\%} \times \text{加入月数} / 12 = \boxed{\phantom{00000}} \text{円} \text{ ⑦}$$

### 【均等割額】

$$\mathbf{7,185} \times \text{40歳から64歳の国保の加入者数} / 12 = \boxed{\phantom{00000}} \text{円} \text{ ⑧}$$

### 【平等割額】

$$\mathbf{6,557} \times \text{(注)40歳から64歳の国保の加入者がいる世帯にかかります。} / 12 = \boxed{\phantom{00000}} \text{円} \text{ ⑨}$$

$$\text{合計(⑦+⑧+⑨)} \mathbf{0} \text{円} \text{ C}$$

(最高限度額 140,000円)

A (医療分)

$$\boxed{\phantom{00000}} \text{円}$$

B (支援分)

$$\boxed{\phantom{00000}} \text{円}$$

C (介護分)

$$\boxed{\phantom{00000}} \text{円}$$

平成26年度 国民健康保険料

$$= \boxed{\phantom{00000}} \text{円}$$

(※1) 賦課基準額 … 平成25年中の総所得金額等から基礎控除(33万円)を差し引いた額をいいます。

(※2) 特定世帯 … 後期高齢者医療制度に移行した結果、国保加入者が1名となった世帯のことです(5年間、医療分及び支援分の平等割の2分の1を軽減します。)

(※3) 特定世帯 … 特定世帯に該当してから、6年目を迎えた世帯のことです(3年間、医療分及び支援分の平等割の4分の1を軽減します。)